

経済・金融 フラッシュ

ユーロ圏失業率(2022年1月) — ついに6%台まで低下

経済研究部 准主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

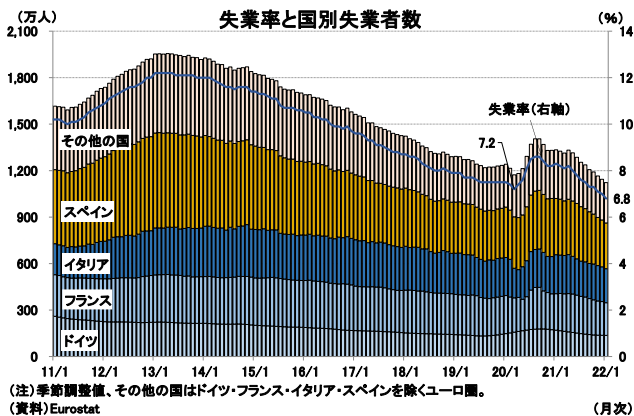
1. 結果の概要: 失業率がついに6%台に

3月3日、欧州委員会統計局（Eurostat）はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

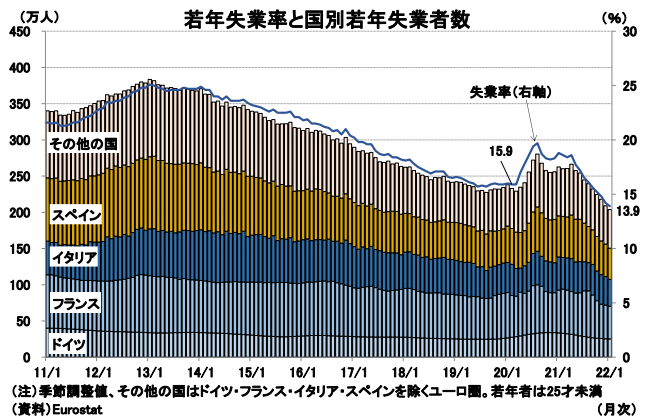
【ユーロ圏19か国失業率（2022年1月、季節調整値）】

- ・ 失業率は6.8%、市場予想¹（6.9%）を下回り、前月（7.0%）から改善した（図表1）
- ・ 失業者は1122.5万人となり、前月（1143.9万人）から21.4万人減少した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細: 若年失業率が大幅に低下

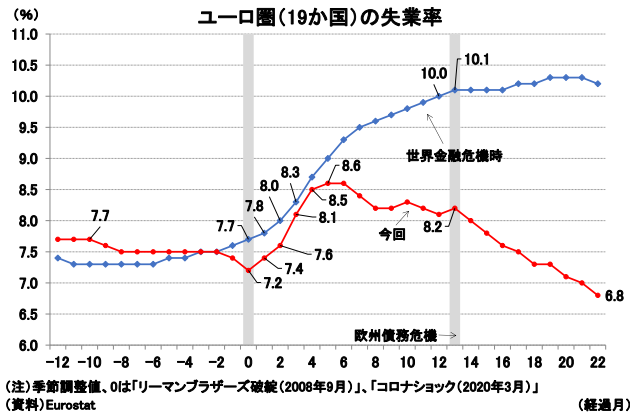
ユーロ圏の22年1月の失業率は6.8%と前月の7.0%から低下し、データ公表以来の最低値を更新した。また、改定値も前月から大きな変化はなかった。失業者数は1月の前月差で21.4万人減（12月改定値：▲21.7万人）となり、4月以降の減少数（21年5-22年1月累計）は209.6万人となった。失業率、失業者数ともにコロナ禍直前の状況よりも改善し、さらに改善傾向が継続している（図表3・4）。

若年失業率は、1月は13.9%となり前月（14.2%）から大きく改善した。また、若年失業者数は1月で203.4万人（前月差▲5.2万人）だった。また、若年失業率は12月までの改定値が大きく改善方向に修正された（12月：改定前14.9%→改定後14.2%、11月：15.4%→14.8%）。若年失業

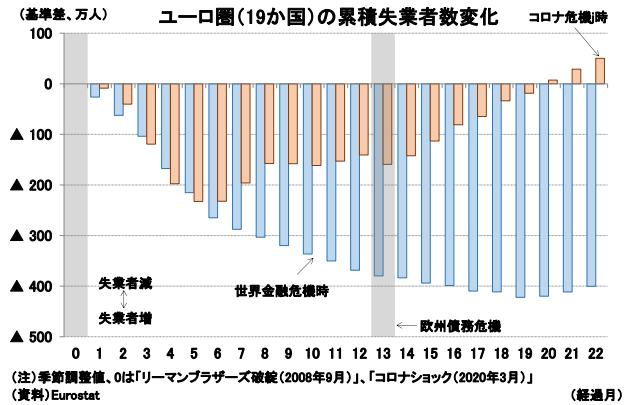
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

率の低下スピードが目立っている（図表2）。

（図表3）

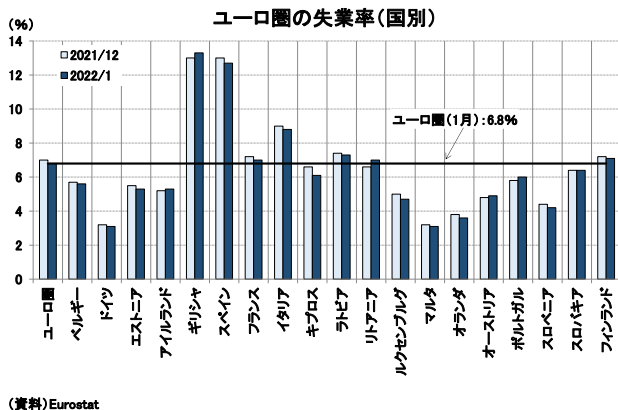


（図表4）

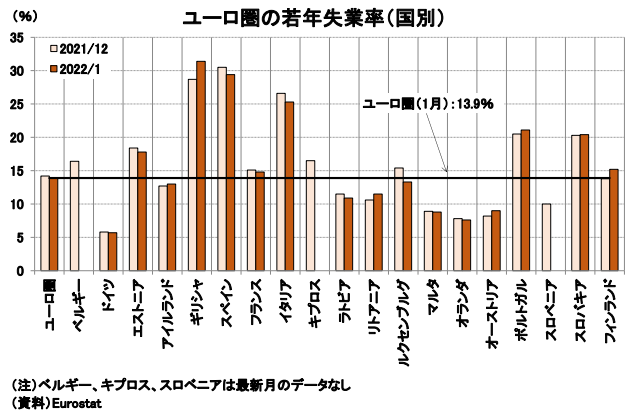


国別の1月のデータを見ると、失業率では19か国中、悪化した国が5か国、改善が13か国、横ばいが1か国だった（図表5）。若年失業率ではデータが公表されている16か国中、悪化した国が7か国、改善した国が9か国だった（図表5・6）。悪化する国もあったが、大国4か国（ドイツ、フランス、イタリア、スペイン）がいずれも改善しており、全体の失業率低下に寄与したと言える。

（図表5）

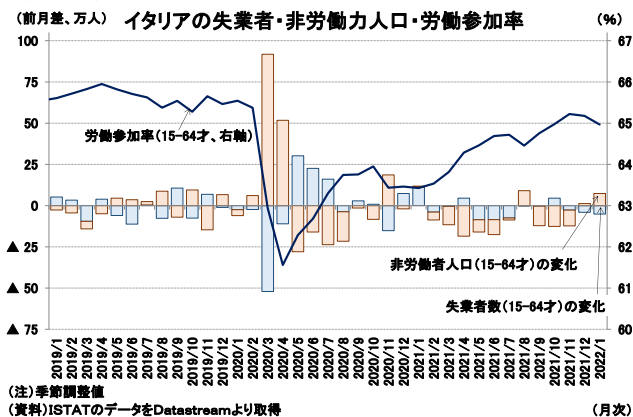


（図表6）

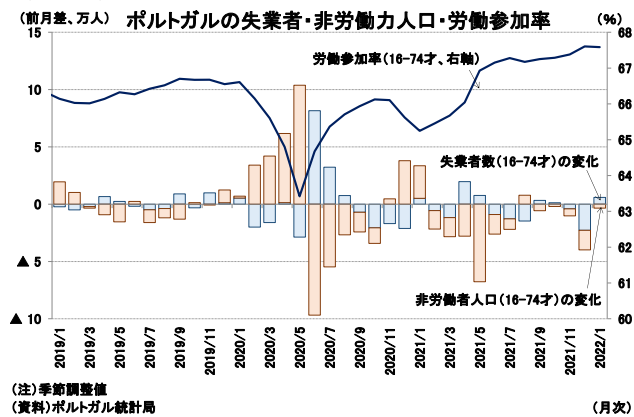


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が減少する一方で、それ以上に非労働力人口が増加、就業者数は減少し労働参加率が低下した（図表7）。ポルトガルでは失業者が増加、非労働力人口は減少、就業者数が減少している（図表8）。いずれの国も雇用環境は改善傾向にあるが、1月については目立った改善は見られなかったと言える。

（図表7）



（図表8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。